

19回生中等1年生 国際教養 富士ワークキャンプ

	10/22(水)	10/23(木)	10/24(金)
人間理解	①世界遺産センター ②東園寺		③北本宮浅間大社 ④ふじさん ミュージアム
国際理解	①世界遺産センター ②ふじさん ミュージアム	ホールアース自然学校 まなびの森 & フォレストアーク	③新倉山浅間大社 ④東園寺
理数探究	①山梨県リニア 見学センター ②世界遺産センター		③富士山科学研究所 ④富士山レーダー ドーム館

富士WC実行委員会紹介

11名(男子5名、女子6名)の19回生がメンバーとなり、WC当日の3日間を充実させるため、夏休みから活動を進めました。Microsoft 365のFormsを使ってしおりの表紙・裏表紙のデザイン募集やレクリエーション案のアンケートをとったり、持ち物や富士山についての情報、ルール・マナーなどを載せたしおりを作成したりしました。WC当日も、お互いが気持ちよく、安全に過ごせるように実行委員として声掛けや企画を実施しました。

主な係分担

- しおり 予定表・健康観察表・持ち物表行動班の学簿・訪問する施設の情報など
- レクリエーション 学年内での親睦を深める企画の立案
- ラジオ体操 生活リズムを崩さないための工夫
- 挨拶/点呼 訪問先での挨拶とお礼、バスでの点呼食事のときの号令、おかわり呼びかけ
- 健康観察 就寝前の検温や体調の呼びかけや確認
- 落とし物 落とし物などの回収、管理

富士WCはどんな行事？

富士WCとは？

富士WC全体を通したResearch Question

大RQ：人は自然とどのように関わっていけるのか

人間理解RQ：私たちはどのように自然と向き合い、生活を豊かにするのか

国際理解RQ：富士山との関わりはどのようにコミュニティを発展し、

今後もさせ得るのか

理数探究RQ：科学的・人工的な手法や工夫はどう自然と関わり、また

共存していけるのか

- ISS独自の学習領域「国際教養」の一環で、中等1年生で実施される宿泊を伴う探究学習
- 2025年度は事前学習を経て10/22(水)～10/24(金)の3日間で山梨県・静岡県を訪問し人間理解・国際理解・理数探究の3コースに分かれて現地調査を実施
- 探究の問い“Research Question”を設定し、その問いに答えるため3コースの視点で事前学習や現地調査を実施

FWで得られたこと・気づき

世界遺産センター 人間 国際 理数

富士山の世界遺産認定から富士山周辺の人々の文化・信仰的な関わりについて、施設の方々のガイドがあったのでわかりやすかった。富士山の地質学・自然などの展示も豊富だった。

東園寺 人間 国際

富士信仰の観点から過去の人々の富士山に対する思いを知った。また、忍野八海と富士山の関係やその成り立ちと、世界文化遺産に登録されるためにたくさん努力があったことを知った。

北本宮浅間大社・新倉山浅間大社

地域のガイドさんに連れられ、富士山と神様の繋がりが、浅間大社を含む周辺の施設、場所の役割を知ることができた。何よりも、浅間大社のかもし出す雰囲気神秘的だった。

ふじさんミュージアム 人間 国際

富士山の歴史や人々の生活と自然との共存方法を知ることができた。360° VRによる富士山の登頂までの映像体験も驚いた。外国人観光客が多かったのも印象的だった。

山梨県リニア見学センター 理数

インタビューを通して、無塗装の車両やエコなシートを使っていることがわかり、自然を汚さないように科学的・人工的な手法や工夫を用いて自然と共存しようとしていることがわかった。

富士山科学研究所 理数

学校の地学の授業で学習したことと繋がった。また、探究班のテーマに繋がると感じたのは、人は自然や自然災害と共存するために過去のデータを科学的な手法で記録し、将来へ受け継ぐことで変化を予測でき、今後の自然災害に対策ができる、という点だ。

富士山レーダードーム館 理数

防災について、学び、生かし、備える大切さを学んだ。以前は、気象衛星やレーダードームがなかったため、天気予報が今ほど正確にわからなかったが、今は予測することができるようになった。

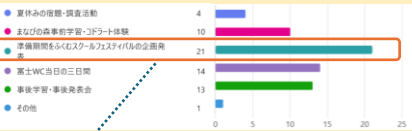
まなびの森 人間 国際 理数

先輩方から引き継いだ毎木調査・コードラト調査を継続するのと同時に、自分たちが立てたRQを立証するため“まなびの森”の現地調査をした。鹿の骨や動物のフンなどの痕跡も発見した。

協働スキルの実例

n=63

①意見の対立を解決し、チームで協力して行動す



スクールフェスティバルの企画発表では意見の対立が多かった(21人 33%)

②他者の見解や考えに積極的に関心を傾ける



発表会に向け、班員のデータや意見の集約時にスキルを発揮(24人 38%)

③他者と効果的に交渉する



対立に対する交渉、予定や分担の相談など(18人 29%) WC当日(17人 27%)

④リーダーシップを発揮し、集団の中で様々な役割を引き受ける



リーダーシップを発揮している場面は人それぞれと言える

富士WC実行委員のコメント

- 食事の挨拶や各訪問場所での挨拶などの担当決める際に誰が何をやるのかで対立したが、担当回数や他の係仕事とのバランスを整理し、話し合いで解決できた。
- レクリエーションについて、事前にルールやその場での説明担当者などを決める際にいくつかの意見の良いところを統合して一つにまとめた。
- 予定と異なる状況が生じたときに、別の実行委員に代理をお願いしたり、先生に時間の調整を交渉したりした。
- レクリエーションでの活動内容の臨時的な変更を検討し、決断した。

19回生のコメント

- スクフェスの企画では皆、それぞれ意見や理想像があるため意見が割れることがあった。意見が割れて対立した時はすぐに多数決を取るのではなく、多数派の意見も少数派の意見も聞いてから多数決を取るように工夫できたと思います。
- 期末テストや課題に追われ、だれも事後発表のスライドに手をつけていなかった。他人任せにするのもできたが「時間がある人は手伝って欲しい」とメッセージを送ったところ、すぐに来てくれた人がいて、一緒にスライドを作ることができた。自分から行動ができた点は良かったと思う。

今後の課題

富士WC実行委員の視点から：

- しおりやレクについてだけでなく、学年全員でもっとWC全体の活動を創り上げられたらさらに良い活動になると思った。
- 部屋移動や大声で話すなど、ルールやマナーについてしおりに注意書きを書くなど、まだまだできる工夫があった。宿舎で買える飲み物の、ゴミの分別ができていたのは良かった。

協働スキルの観点から：

- 活動の運営をしていく上で、もっと実行委員会の多くの人の意見を統合して考えた方がいいと思った。スキル①
- 周囲への注意や静かにさせるなど、もっと実行委員でおこなうべきだった。役割分担をしているので仕方ないが、委員以外の人をもっと機能すると良かった。



【理数探究コース】
山梨県リニア見学センター



【WC2日目】
富士研修所・朝のラジオ体操



【人間理解・国際理解コース】
東園寺



【WC2日目】
ホールアース自然学校・まなびの森